

アルミ製簡易試作金型と成形品

ダイス、上海で生産

大手自動車メーカーなどに拡販する。

ダイスの07年9月期の売上高は約2億円。試作金型に加え、自動車のドアミラー、シートベルト部品、携帯電話などの通信機器部品を製造。これ

までは国内生産にこだわってきたが、注文量増大に加え取引先の車メーカーから強い要請があったこともあり、07年から上海で簡易試作金型の生産を試行してきた。

ダイス（大阪市福島区、須賀一夫社長、06・6458・2796）

は、4月から中国・上海でアルミニウム製簡易試作金型と成形品の生産を始める。これまで現地の

り「さらに磨きをかける」（同）という。

協力会社に委託してきたが「品質が安定し、日本

初年度1億円の売り上げを目指す。

同様の短納期が実現した」（須賀社長）ことから、同月めに協力会社を吸収合併。自社による生産に切り替える。従来

の半値に近い生産コストを生かし、低価格・短納期を武器に大手自動車メーカーなどへ売り込む。

協会の資本金は1000万円で、日本人が経営している。合併後も社長などは変更しない方針。ダイスのアルミ製簡易試作金型は2〜3週間の短納期に加え、鉄製金型の6割程度の価格で製作できる。これを武器に